

地域に開く高齢者施設の在り方

パートナー名 特別養護老人ホーム 栗林荘

24班

コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科
グループ指導教員

館野莉奈 水嶋遥菜
荒竜馬 佐藤禅 小保方美斗
鈴木晴香
古賀章草

01 背景・課題

高齢者施設の現状として暗い、清潔感が無いといったイメージ(図1参照)がついていたり、利用者の「主体性」が失われがちであったり、地域が本来持っていた互恵互助の機能が解体され委託化が進んでいる。そこで栗林荘は地域の互助機能を補完する役割を持つ、「地域に開いた高齢者施設」「地域の一部」の実現を目指し、利用者一人ひとりが輝ける環境づくりを行っている。

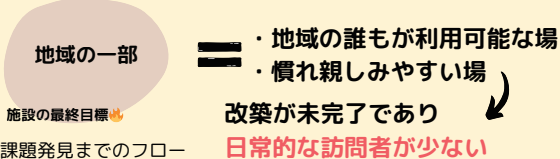
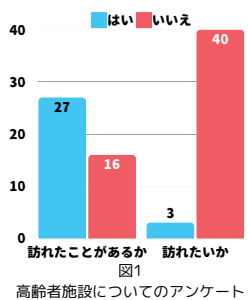


図2 課題発見までのフロー

事前調査



高齢者施設についてのアンケート
対象者 宇都宮大学地域デザイン科学部3学年
配布方法 Google form 回答数 43件

明らかになったこと

- ・高齢者施設に訪れたことがあってもなくても訪れたくない人が9割を超えた。
- ・訪れたことがなく今後も訪れたくないという回答が一定数あり、高齢者施設に対する悪いバイアスが存在する。

02 目的

継続的に人が訪れるような場所にするために、

●栗林荘の知名度を高める。

人の出入りを増やす。実際に足を運んでもらい、訪問者自身で栗林荘という場所の魅力を知ってもらう。高齢者施設がもつ暗いイメージを改善し、また来たいと思えるような場所を目指す。

●訪問者について調査する。

訪問者がどの地域から来たのかや交通手段、年代、どのような点を魅力に感じているのかなどを調査し、継続的に人が訪れる条件を調べ、次年度の活動に向けて提案する。

03 実践1 納涼祭

2024年9月21日

コロナの影響で無くなっていった納涼祭を復活させようと提案し、一般の地域住民も参加できるようにした。目的として、施設内を見てもらい魅力を発信すると共に、認知度を高める。アンケートやヒアリングを通してどのような人が栗林荘に来るのかを調査する。

活動内容
企画・運営
出店の内容や配置、スタンラリーの企画を行ない、栗林荘の魅力を伝える方法を提案。
広報
作成したポスター・チラシを近隣の保育園や小学校にポスティング、回覧板に掲載、ローカルテレビに協力要請を行った。また広報を兼ねて7/24に近隣の保育園の園児を招いてお菓子の体験会を開催。

7/24 園児お菓子体験会

定席を活用したスーパースポーツ・ヨーヨー祭り

改修後 栗林荘模型展示

▲納涼祭ガイドマップ
施設内を巡るスタンプラリー付き

◀小山テレビ取材

04 実践2 クリスマスWS

2024年11月30日

納涼祭で得た結果から、毎月施設で行っている手芸部WSの場をお借りして、一般の地域住民を招きクリスマス手芸WSを開催。目的として、より気軽に訪れやすい施設であることを知ってもらう。

活動内容
企画・運営
手芸WSで作った作品を施設内のツリーに飾ってもらうことで施設内を散策してもらう企画。
広報
ポスティング、栗林荘の手芸部WS Instagramの活用。

WS実施様子

CMリース・ツリー

ツリー装飾

◀栗林荘 イベント用 Instagram

実施結果

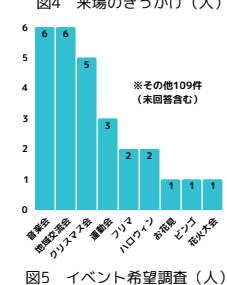
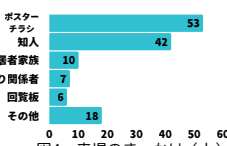
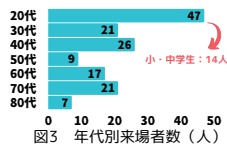
大人と子ども合わせて15名程度来場した。ポスターやInstagramをきっかけに来場した方がおり、今後の広報活動に効果が期待できる。施設内外の交流を深められた。

実施結果

栗林荘についてのアンケート
対象者 納涼祭に訪れた人 回答数 136件
配布方法 手渡し筆記アンケート

明らかになったこと

- ・小・中学生が多く(図3)家族連れが楽しめるイベントの需要がある。ポスティングやチラシ配布は効果があり(図4)、今回手が回らなかったSNS運用にも力を入れるべき。
- ・全体の約17% (24名) が納涼祭がきっかけで栗林荘を知ってもらえた。満足度の設問では全員がまた来たいと回答しており、ヒアリング調査においてはスタンプラリーのおかげで施設内を見学でき、広く綺麗だったなど、来場者の満足度は高かった。また、クリスマス会や音楽会、地域交流の場を設けてほしい(図5)といった声が多数寄せられた。



05 提案

小さなイベントや地域の交流の場を継続的に行うことで地域に開かれた施設を作っていく。納涼祭のような季節のイベントを行い知名度を高め、手芸部のような定期的に開催する日常的なイベントを繋げ普段の賑わいにする。



感心を持ってもらう為には広報活動が必須。効果が見込めるポスティングを中心に手芸部WSのInstagramも活用し、イベントや施設の変化を発信していく。

06 展望



3月に開催される『ホワイトリボンラン』イベントに向けて活動中。JOICFPが運営の全国企画であり、小山拠点は栗林荘で開催！SRHR・栗林荘と合同でInstagramでのSNS運用ポスティング活動などの広報活動を行なう予定。